

ドローン操作に挑戦

横手市 プログラミングも体験



プログラミング学習でドローンを操作する児童

タブレット端末を使って小型無人機「ドローン」やロボットを動かすプログラミング学習が横手市の朝倉小学校（藤田睦代校長）で行われ、

6年生39人が操作を体験した。昨年度からプログラミング教育が小学校で必修化される中、プログラムした内容がど

のような動きにつながるかを知ってもらおうと実施。13日に行われた授業では、横手清陵学院高校の教員と同校総合技術科の生徒が指導役となった。

ドローン操作を体験したグループは、床に置いたフラップの間を移動させるゲームに挑戦。タブレット端末を手にした子どもたちは専用アプリで飛行する高さや距離などを設定した。高校生のアドバイスを受けながら飛行させ、無事にフラップに着地できた時は歓声が上がった。嶋田琉夏さんは「進む方向を自分で設定して飛ばすことができ、プログラミングは楽しいと思った」と話した。

（阿部拓郎）